

## 令和5年度第2回香取市総合教育会議会議録

- 1 期 日 令和6年2月22日(木) 開会 午後3時  
閉会 午後3時55分
- 2 場 所 市役所4階庁議室
- 3 出席者 市長 伊藤友則  
教育長 堀越洋  
教育長職務代理者 熱田昇  
教育委員 芦田優子  
教育委員 伊藤博和  
教育委員 鳥次由紀子
- 4 傍聴者 あり
- 5 出席職員 教育次長 高岡洋一  
教育総務課長 小沼利之  
学校教育課長 高橋進  
生涯学習課長 木内英子  
生涯学習課副参事 飯田利彦  
香取市学校給食センター所長 紀伊元茂則  
学校教育課学校教育班長 秋葉賢一  
学校教育課指導班長 園山力  
学校教育課指導班指導主事 大竹雅史  
生涯学習課スポーツ振興班長 吉村浩平  
教育総務課教育総務班長 菅生和代
- 6 開 会 関係者全員がお揃いですので、ただいまから、令和5年度第2回香取市総合教育会議を開会いたします。  
私は、本日の会議の司会進行を務めさせていただきます、教育総務課の小沼です。よろしくお願いたします。  
なお、本会議は、香取市総合教育会議運営要綱第4条第1項の規定により、原則公開するものとなっており、非公開とすべき案件がないことから傍聴希望者の入室を許可しております。  
また、本会議は会議録を作成し、市ホームページにて公表いたしますので、ご了承願います。  
それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。

最初に、会議の主催者である伊藤市長よりご挨拶をいただきます。

## 7 市長挨拶

皆さんこんにちは。

本日は令和5年度第2回香取市総合教育会議にご参集いただきまして、ありがとうございます。

総合教育会議の目的は市長と教育委員会が円滑に意思疎通を図り、市の教育行政の課題及び目指す姿を共有し、より一層教育行政を推進するところにございます。

令和5年度第2回目の会議においては、議題として学力向上の推進、そしてもう一つ生涯スポーツの推進について取り上げさせていただきます。

これら現状をご理解いただきながら、今後さらなる向上、推進させていくための忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

教育総務課長

それでは、早速議事に入らせていただきます。

議事の進行につきましては、香取市総合教育会議運営要綱第3条の規定により、市長をお願いいたします。

## 8 議 題

議長(市長)

それでは、議事に入らせていただきます。

議題「学力向上の推進について」事務局から説明をお願いいたします。

学校教育課長

学校教育課の高橋と申します。私から「学力向上の推進について」ご説明いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

本日議題が2件ということで時間の関係もありますので、内容を端的にコンパクトにと考えておりますが、学力向上と申しますと、とかく話が難しくなりがちですので、できるだけ楽しくわかりやすくを目指しております。途中でテストをやっていたり、少し学生の頃に戻った気分であっていただければと思います。基本的に画面を見ていただいてわかるような話で構成してありますので、画面の方を中心にご覧いただければと思います。

先ほどから、アイスブレイクというか、最初リラックスする意味でこれをわざと映しておいたのですが、同じ意味かどうか、同じだったら○、違う意味だったら×と言われたとき、○でしょうか、×でしょうか。小学校だと、「○の人～、×の人～」なんてやるのですが、皆さんは大人なので、それは聞きませんが、正解は×です。例えば、秋葉君、園山君、大竹君、高橋君といった場合、みんな高橋君のことをいつもお願いばかりしてくると妬んでいる。ですが、高橋君も誰かを妬

んでいても、秋葉君、園山君、大竹君が妬まれているとは限らない。ということですから、同じ意味にはならない。実はこれ、ツイッターで1,300人ぐらいがやって、そのうち半分ぐらいが間違えたという、今日はこういう話になります。

でははじめに、香取市内の児童生徒の学力について申し上げます。香取市では、市内の児童生徒の状況をつかむ一つの尺度としまして、全国学力学習状況調査の結果考察を毎年行い、ホームページで公開しております。令和5年度の詳細につきましては、資料1に掲載しておりますので、後程ご覧ください。概要を端的に申し上げますと、画面に映してあります、「各教科で、全体平均正答率の向上が見られる」「中学校数学の全国平均との差が大きい」「記述式問題の正答率の低さが各教科で課題であったが、向上傾向にある」「中学校数学の記述式問題も改善はしているが、全国平均との差は依然として大きい」と一言で言いますとやはり、中学校の数学が課題となっているといったところが浮き彫りになっています。

こうしたことを背景に、学力向上への手立ての一つとして、香取市教育委員会では、学力向上研修会を開催してまいりました。研修会は主に各学校の教務主任を対象に、全国学力学習状況調査の現状分析や課題の共有及びそのための取組みの情報交換を行いました。本研修会では、先ほど申し上げた記述式問題の正答率の向上を目標に、主に思考力、判断力の育成を重点化してきました。各学校の優れた取組みとしては、学習のまとめを自分の言葉で書く活動、新聞記事の要約、条件付き短作文といったことが挙げられます。それらを各学校でも実践することで、先に述べた成果の一助となったことが考えられます。

一方で、先ほどから申し上げている数学の正答率の向上については、これらに加えて、「問題文やその意図が正確に読み取れていないのではないか」といったことが考えられました。何が書いてあるのかわかっていないのではないかとといったところです。数学は、概念的な定義が頻出し、文章を読み解くヒントとなるキーワードも比較的少ないため、読解力の低さが理解度の低さに大きく影響すると考えたためです。

数学ではありませんが、小学校でよくあることで、例えばこういうことがあります。「じゃがいもにヨウ素液を加えるとどんな色になりますか」皆さん覚えてますか。青紫とか、黒っぽい紫とかそのような回答になるのですが、小学生は普通に「はい」と書くんですね。えって、笑い話のようですが、本当にあるんです。読めていないということがよくあります。

問題文やその意図が正確に読み取れないで問題を解くというのはどういった感覚か、子どもたちの思考の中で、どういった思いが起きているのか、できるだけ感じられるよう一つ問題を作ってみました。

今からお見せするものは、小学校2年生で学習する算数の問題です。よろしいですか、どうぞ。実はこれ、スペイン語で書いてみました。たぶん足し算の勉強だったら2足す8とかやるのかなと思います。わからないですよ。さすがに極端すぎるので、こうしてみました。古文で書いてみました。こちらは、なんとなくわかる気がしてきました。ただ、貧食ってなんだろうとか、読めない子というのは、頭ん中でこういうことが起きてるのかなと想像できます。ちなみに答えがわかった方はいらっしゃいますか。これは「おにぎりを1人2個ずつ配ります。8人に配るには何個必要ですか」と聞いてます。問題文が変わるだけで、これだけの差が生まれました。問題がさらに難しくなればなるほど、「なんとなくわかる」が通用しなくなります。特に算数数学は、文章の文字数が少なく、その傾向が顕著です。言い換えれば、算数数学ほど、文章の意味を正確に読む必要があるといえると考えます。ここで読解力に注目したという訳です。

こうしたことを踏まえたうえで、学力向上について専門的に話し合う組織として香取市学力向上推進委員会を新たに編成しました。本会は、市内小中学に勤務し、優れた実践力、指導力を発揮している教職員を委員として構成しています。会の中では、市内小中学校の児童生徒の現状分析や課題及びそれに対する手立ての立案等を協議しました。その中で、読解力に注目が集まり、それを構成する要素やその系統性を視覚化するとともに、向上のための具体的手立てを考えることの重要性を確認しました。こうしたことから、その手法の一つとして、「リーディングスキルテスト」に注目をしました。

リーディングスキルテストは国立情報学研究所教授の新井紀子氏が提唱する読解力を診断するためのテストです。教科書や新聞、辞書等を出典とした200字程度の短文を読み、コンピュータを使って回答するものです。リーディングスキルテストでは、読解力が6分野7項目に分類されており、分野ごとの得点により、読解力の中の強みや課題点などが把握できます。レジュメ3頁に表2の大きいものがありますので、後程ご覧ください。

本日は、実際にこのテストを少し体験していただきたいと思えます。4問用意しましたので、配られた方からやっていただいて、答え合わせをしたいと思います。5分くらい経ったので、そろそろよろしいでしょうか。それでは、答え合わせを行います。画面に表示しますのでそちらをご覧ください。4・2・2・3、これが答えになります。結果についてはお聞きしませんので、ご自分でちょっと振り返りを行っていただきたいと思えます。

実際のテストでは、6分野7項目に関してテストを行いますので、問題数はもっと多くなります。テストを実施した後、すぐに結果の評価及びその分析がコメントとして出力されます。分野別に示されるた

め、自分の強みや課題点を細かく把握することができます。また、手立ても具体的なものが例示されます。この流れを図式化したものがレジュメ6頁ですので、後程ご覧ください。テスト実施の後、評価コメントが出力され、それを受けて個人や教員が今後の手立てを考えるとといった流れです。例では、指示語が何を指しているのか考えようといったアドバイスに対して個人の目標としては、まずは文書に触れる機会を増やすといった方針が立てられます。同時に教員は、授業中の改善点として、指示語に線を引き、それを全体で考える場を設けるといった視点が追加されます。こうしたコメントは、読解力を構成する6分野すべてから出力されるため、トータルで改善点に取り組むことができるといった良さがあります。

市内中学校1校でリーディングスキルテストの試行を行いました。その結果の詳細をレジュメ5頁に掲載してございますが、各分野の最も割合が多かった評価を一覧にしたものが、画面になります。こちらからもわかりますが、当該校は全体の各能力偏差値が51から55と、非常に高い結果となりました。しかしながら、個人差が大きいといった課題も浮き彫りになりました。この個人差に細かく対応していけるのも、リーディングスキルテストの良さです。当該校では、早速教職員が授業改善として、生徒一人一人のつまずきや困難を予測するための情報交換をするとともに、指示をわかりやすくすること、文章を読む際の支援のポイントなどを話し合い、実践しています。それに対して、生徒も少しずつ変化が見え始め、文章をじっくり読む姿勢や繰り返し読み、重要なところに線を引くといったことが盛んにおこなわれています。

最後に、まとめとして、リーディングスキルテストの流れを端的にまとめたものが、画面になります。読解力を6分野7項目の構成要素に分け、分野ごとにテストを行います。テスト後、分野ごとに評価が出力され、それはテストを受検した一人一人の実態に沿ったもので、効果的効率的な手立ての組み立てが期待できます。これをもとに個別最適化の学習が実現され、それがひいては学力向上につながるというように考えています。リーディングスキルテストを一つの柱として、今後も学力向上を目指してまいります。

議長

ただいまの説明について、皆さまからご意見をいただきたいと思えます。

委員

この中では触れていないところではあるのですが、個別最適化というところで、習熟度別学習は、各学校でどういった取組みがなされているのか、どのぐらいの学校でやっているのか、それについての効果というのは、調べたりされていますか。

- 学校教育課長 習熟度別は、理解度に合わせた指導ですので、非常に効果があることは期待されるのですが、やはり周りの目とかもございますので、取り扱いはすごく慎重に行っています。
- 多くの場合は、コースをABCなどランクが連想されるようなものではなくて、例えば頑張りコース、バリバリチャレンジコースのような名前にした上で、自己評価をして自分でテスト結果から選ぶという能力別と自分の課題選択を合わせたような流れで行っています。
- 子どもたちもあまりにもかけ離れたコースを選んだりはしないので、自分の理解度に合ったコースを選んで進めています。必ずどの学校でも、自由にコースの行き来ができるようにしているので、ここはもう何となくできた。もう一つ難しいところをチャレンジしてみよう。そういった中でうまく習熟度を使ってるというのが現状です。
- 委員 算数や数学だけでやってるような状況になりますか。
- 学校教育課長 算数数学は、取り組みやすい教科ですが、取り組みによっては国語でも、読み取りのチャレンジなど行われる場合もございます。
- 委員 こことはまた関係ないのですが、先ほどの教育委員会議の中でも、こちらのアンケートの中でも、やはり保護者は多様な学習形態がとれることを望んでいるような印象を受けました。例えば英語も格差が結構あったりすると思うので、そういったところもどんどん進めていただけたらいいと思いました。
- 委員 全国学力学習状況調査というのは、昔学力テストと言っていたものと同じですか。
- 学校教育課長 学力テストは、千葉県の中で行われている、年度末に行っているものです。これは今でも小学校であります、それとは別で全国統一のテストになります。
- 委員 毎年やるのですか。
- 学校教育課長 コロナ禍で一部例外がありましたが、基本毎年行っています。
- 委員 出題された問題などは、回収されるわけですか。
- 学校教育課長 問題は簡単に手に入り、むしろ過去問に取り組むことが推奨されているので、学校によっては取り組んで練習しています。

教育長

付け加えますが、普通のテストでは難しい問題の配点が大きくなっているところ、全国学力学習状況調査は、難しい問題でもできたかできないかのパーセンテージとなります。

例えば10問のうち6問できたら、60%で60ポイントになります。今中学校の数学で3ポイントほど全国と差がありますが、正答数、何問できたかを見ると、香取市の数学の平均的な正答数は、15問中7.2問、全国だと7.4問となります。1問ないのですが、やはり統計的に見ると差があるということになります。

議長

他にご意見等ございませんか。

委員

リーディングスキルテストを12月に市内中学校1校で行ったということですが、他の学校でも行う予定はあるのでしょうか。

学校教育課長

来年度ぜひすべての中学校で実施できればと思っています。

委員

もう決まっていて、やりますよというわけではなく、やれたらいいなというところなんですか。

学校教育課長

やはり受検にはお金がかかりますので。

委員

とても効果が目に見えてわかるようなので、ぜひすべての学校でできればいいなと思いました。

委員

数年前から香取市の成績が県や全国と比べて低く、教育委員会の方と話した時に、思考力表現力と記述式の点数を上げていくためには、即効性はないので時間が掛かると言われたので、多少効果が出てきたのかなとか思いながら聞いていました。また、委員がおっしゃったようにリーディングスキルテストで長所短所もわかったり、個別最適化という形で、すごく良いテストだと思うので、予算措置について強く要望することがよろしいと思います。

議長

他にご意見等ございませんか。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

学力向上の推進につきましては、新たな切り口で取り組んでいるところですが、市といたしましても積極的に支援してまいりたいと考えております。

それでは、次の議題「生涯スポーツの推進について」に移ります。事務局から説明をお願いいたします。

「生涯スポーツの推進について」説明させていただきます。  
資料については「第2次香取市総合計画後期基本計画」の抜粋と、「第3次香取市生涯スポーツ推進計画」になります。

はじめに、「生涯スポーツの推進」の位置づけは、香取市の令和5年度から9年度の5か年間の羅針盤となる「第2次香取市総合計画後期基本計画」の重点プロジェクトの一つである「香取で産み、香取で育てる環境の整備」において、「教育・文化の振興」の人格の形成・体力の向上・健康長寿のベースであり、活力に満ちた社会形成にも貢献するもので、プロジェクトを進めていく中で、欠かすことのできない内容となっています。このような背景から、関連する個別計画として、後期基本計画と計画期間を合わせ「第3次香取市生涯スポーツ推進計画」を策定し、ホームページ上で公開しております。

では、改めて後期基本計画の抜粋を、ご覧いただきたいと思います。施策の4-5「スポーツの推進」は大きく分けて「スポーツ振興」と「社会体育」になっています。

大きな項目の一つ目「スポーツ振興」の現状と課題では、市民一人一人が求めるスポーツ活動等に親しむ機会を提供するための活動拠点となるスポーツ関係施設の多くは、築40年が経過して老朽化が進行しています。また、多様化するスポーツ活動の場となるよう、適正な管理運営と施設の改修を含め、関連施設を含めた総合的な見直しや類似施設の統廃合といった対応をする必要があります。

取組方針は3項目ありますが、まず、「豊かなスポーツライフの実現に向けた活動の推進」として、前回の総合教育会議で議題となった「部活動の地域移行」を進める上で、必要になるであろう「総合型地域スポーツクラブの育成・支援」や「小江戸マラソン」・「市民レガッタ」等の市民参加型のスポーツイベントを開催していきます。本件については、説明終了後に昨年公開した「水上スポーツ」のPR動画をご覧ください。

次に「スポーツ活動の利用しやすい環境の整備と対象施設の適正な管理」を重点施策としております。先に申し上げたスポーツ関係施設の老朽化や種目の偏りの是正を図るため、「既存施設を含めたスポーツ施設再整備計画の策定」を軸に、主要施設の市民体育館・スポーツコミュニティセンター・3つの海洋センターの「利用しやすい環境の整備」と「管理運営」を進めていきます。

最後に「競技スポーツ志向への対応及び必要な支援策の検討」では、市民の競技スポーツ志向の動向等もありますので、そういったニーズに対応する制度や支援策の検討を進めていきます。

大きな項目の二つ目「社会体育」では、昨今の健康志向や体力の向上・健康長寿といったニーズに対応し、リピーターと新規参加者など

幅広い参加者を確保するため、スポーツ推進委員との連携を取りながら「指導を伴う教室等の継続的な開催」により、スポーツ施設の有効活用を進めるため、「スポーツ教室等の充実及び指導者の育成」を取組方針としました。

以上ご説明した内容が、「生涯スポーツ推進計画」の策定ベースとなる市の基本計画となります。

先ほどの重点施策として、「スポーツ施設再整備事業」について、進捗状況をご説明します。令和5年度には、くろべ運動公園内のテニスコート改修工事として、6月24日から10月21日の工期で人工芝全面張替を実施しました。工事に至った経緯としては、平成16年に整備した市内唯一の人工芝テニスコートでしたが、整備後19年が経過し、芝の長さが当初の19mmから平均2、3mmとなり、使用に支障をきたしていることから、全面人工芝張替工事を行ったもので、事業費は約4,000万円で、コート4面、2,768㎡を整備しました。現在テニスコートの年間利用者は、約15,000人となり、多くの方に利用されております。

来年度以降を見据えた現在の動きですが、昨年夏頃に改めてスポーツ施設の現状を他部署の技術系職員と確認したところ、施設の老朽化は想定よりも進行しており、今後は市民ニーズを満たしながら、改善・改修、再整備などの方向性について、総合政策ワーキンググループの意見を徴しながら進める必要があると判断をしました。

昨年12月、このワーキンググループにおいて「くろべ運動公園等の再編計画」をテーマに協議したところ、くろべ運動公園に限らず、例えば、生涯スポーツの推進の核であり、市のスポーツ主要施設である市民体育館も築40年を超えている状況にあり、市内スポーツ施設全体の改修・機能集約・統廃合に係る基本方針をもって、今後の議論を進めるべきとの意見が出ました。これらを網羅した基本方針の作成を目指し、長期的なビジョンで適正かつ効率的な配置及び整備を進めていくところです。

このスポーツ施設再整備については、香取市合併以降後回しになっていた感は否めませんが、現在に至り、議論を本格化していく必要があると考えているところです。教育委員の皆様には事務方での進捗に合わせてご意見を徴しながら、市民の皆様にご理解をいただけるように進めてまいりたいと考えております。市民のスポーツ施設に対するニーズは、生活様式や環境変化と同様に、市内の既存スポーツ施設建設当時とは大きく変わってきています。例えば、近隣市の新しい類似施設を見ますと、単なるスポーツ施設としてではなく、防災機能を兼ね備えたり、音楽文化のホールが併設されたり、気軽に参加できるスポーツ教室が行われていたり、施設周辺に散策路や多目的広場・遊具も整備され、市民が集う憩いの場として、市のシンボリックな存在となる

総合的な施設が多いように感じます。今求められる施設整備については、生涯スポーツの推進を所管する教育委員会にとどまらず、全庁的に検討していく必要があると考えているところです。

説明は以上となりますが、このあと水上スポーツのPR動画をご覧いただきたいと思います。

議長 ただいまの説明について、皆さまからご意見をいただきたいと思います。

委員 この動画はどこかで配信されているのですか。

スポーツ振興班長 YouTube で公開しておりまして、香取市のホームページにも掲載しています。

委員 子どもたちには、パッと見れるような短い動画の方が親しみやすいのかなと思うので、ぜひ短いバージョンとかパッと見て魅力が伝わるものがあるといいと思います。

生涯学習課副参事 今日は二つ用意してありますので、短い方もご覧ください。

委員 ありがとうございます。こういったところから入ってもらうのがいいのかなと思いました。

委員 私もこの動画を良いものだと思いますが、これを見てやりたいとなったときに、参加できる道しるべがあるといいと思います。行きたい、面白いと思っても、どこに連絡すればいいのかわからないので。

レガッタは私も何年か参加させていただいていますが、常連さんしかいないです。新しい人が何で入ってこないか、コロナの影響もあったと思いますが、1人2人だと参加ができませんよね。5人いないとできないので、まずは夏の大会の前2、3ヶ月だけでも、ふらっと来た知らない者同士に、まず水の上で漕ぐ楽しさを体験させるような取り組みをして、興味は多少あるけど、ちょっとハードルが高いと思っているのを下げてあげてはいかがでしょうか。

生涯学習課副参事 3月24日に初心者ボート体験教室を行おうと思っています。黒部川の同じ会場で、初心者向けの教室です。その中で新しいクルー、漕ぎ手の発掘をしていきたいと考えているところです。

低学年の皆様にも参加していただきたいと思いますし、この初心者ボート体験教室の中で中学生が集まれば、今の市民レガッタの大会には、中学生のレースはないのですが、例えば参考レースとして組んで

いきたいと考えているところです。

今回の教室は1人2人の参加でも5人でまとまれば、事前申し込みなくても参加できるような形になっています。

委員 5人集めるのも多分ハードルが高いと思いますので、1人でも参加できますぐらいになるといいのですが。

生涯学習課副参事 問い合わせがあったときには、1人でも来ていただければ、他に参加の2、3人いる方と一緒に組んでいただいて、体験できますとお話しています。

議長 他にご意見等ございませんか。

委員 今の動画を見せてもらい、これは個人向けなのか団体向けなのかがよくわからなかったのですが、どなたあてにアピールをしているのですか。

生涯学習課副参事 ホームページの公開なので、特にありません。

委員 特になく、皆さんあてにということなんですね。

改めてこう見ると、とてもいろんな水上スポーツがあるのですが、体験がもっと簡単にできる場所が、例えばこれはここで体験できますといった、そういうものが動画の中でも見られると視覚から入っていただけるので、いいのではないかなと思いました。

文書を見ていけば、問い合わせ先などはあるのかもしれませんが、例えばこの体験だったら、何名以上で幾らでできますよとか、こういった時間で引き受けることができますよとか、もう少し具体的にその体験するものがわかると、個人でも団体でも、こういったことがあるから、じゃあみんなで行ってみようかと、そういったステップになるのかなと思います。今の動画ですと、すてきなところだけで終わってしまうので、もう一つ踏み込んで、PRしていった方がいいのではないかなと思います。

生涯学習課副参事 先ほど委員からもご指摘がありましたが、今は練習を大会前の2ヶ月ぐらいで組んでいます、体験も含めてもう少し、年間で体験できる場を設定していきたいと考えております。

委員 もう1点聞きたいのが、総合型地域スポーツクラブの創設を促進するとありますが、総合型地域スポーツクラブとはどのようなものをお考えしているのですか。

生涯学習課副参事 前回の総合教育会議の中でもご説明したと思いますが、学校部活動の地域移行ですとか、そういったものに対して総合的に取り組んでいくクラブが必要になってきます。

今年度、陸上が地域移行しましたが、この後、令和6年度は各学校1種目、令和7年度には各学校2種目以上を地域移行することになってきますので、そういう受け皿となるところを作っていないといけません。今は基本的に個別に当たってる状況なので、私たちが受け入れますよというような団体、クラブがあればいいなということで書かせていただいています。

委員 具体的にその下地ができていくわけではなく、作りたいなということですね。

生涯学習課副参事 都市部の方ではあるところもあるのですが、なかなか指導者の数も限られていますので、目標として掲げさせていただいています。

委員 香取市学生スポーツアンケートの結果で、やってみたいスポーツに弓道があるのですが、例えば弓道をやりたい場合に、香取市内でその体験ができる場所はあるのですか。

教育長 香取神宮があるんですけどね。

スポーツ振興班長 スポーツ協会に、弓道協会がございまして、毎年夏には体験教室ということで、広報で募集を募っています。

議長 他にどうでしょう。よろしいですか。  
貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。  
市民のスポーツニーズに応えながら、生涯スポーツの推進を図ってまいりたいと思います。  
委員の皆さまには、今後とも教育行政の推進にご尽力を賜りたいと存じます。  
それでは、事務局へ進行をお返しします。

9 その他  
教育総務課長 次にその他ですが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

10 閉会  
教育総務課長 ないようでしたら、以上で総合教育会議を閉会といたします。  
お疲れ様でございました。ありがとうございました。